

5/18 金曜

食料支援各地で

雨の中、長蛇の列 北海道

コロナ感染の急拡大が進む北海道に緊急事態宣言が発令された16日、小樽市で日本民主青年同盟連盟会が呼びかけた学生食料支援が行われ約160人が訪れました。

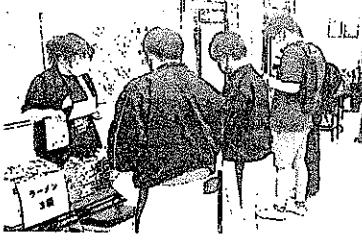


16日 北海道小樽市

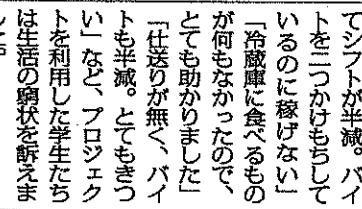
「検査を拡大して」京都



16日 京都市西京区



16日 京都市西京区



16日 広島市

コロナ感染の急拡大が進む北海道に緊急事態宣言が発令された16日、小樽市で日本民主青年同盟連盟会が呼びかけた学生食料支援が行われ約160人が訪れました。

もひったお米がちょうど助かりました。生理用品があつてうれしかった」と笑顔に。

今年入学したばかりの1年生は「緊急事態宣言で全部オンラインで授業を受けていた」と話す。

日本民主青年同盟や東行委員会が取り組む食料無償提供・生活相談会が16日、東京都城陽市、京都市西京区の2会場で行われ、合わせて90人が参加しました。

日本民主青年同盟広島県委員会は16日、広島市安佐南区で25回目の「食料支援プロジェクトあおぞら」を開催しました。

コロナ禍で苦しむ学生たちを応援しようと日本民主青年同盟広島県委員会は16日、広島市安佐南区で25回目の「食料支援プロジェクトあおぞら」を開催しました。

緊急事態宣言が発令された中でしたが、「みんなのまとを貢いで48人が来場。支援者が48人」とおどりながら、「仕送りが無く、バイトも半減。とてもまづい」と利用した学生たちが何もなかったので、とても助かりました。

「仕送りが無く、バイトも半減。とてもまづい」など、プロジェクトを利用した学生たちは生活の窮状を訴えました。

また原則全ての授業

授業は切り替わってしまいました。せっかく交流を広げていても来への不安が大きくなってしまったのだ、イベントで、この先、生きていが全部中止になってしまい、この状態がいつまで続くのか」と思い声があふれました。

被打ち明けました。アンケートには「特に学生や近隣の住民が訪れ、食材を受け取られ、生活実態などを聞かれていました。声があふれました。

区の会場では、雨の中、京都市立芸術大学（芸術学部）は「コロナで大学が閉まったり、リモート授業だったり、生活実態などを聞くアンケートに応えました。

芸術で美術を学ぶ留学生は「観光案内の翻訳のバイトが無くなっている。少しでも給付金を受け取れないから、国のおへそを調べたがわかりにくく。もう少し改善しまつ」と言い、「なぜ大に来たのかと思つてしまつ」と言い、「なぜ

してほじこ」と訴えます。2年の女子2人は「図書館が利用できぬので研究ができない」「せめて施設費だ

がオンラインとなる中で「図書館が利用できない」「学費を下げるほどニーズを見ると、政治家の飲み会のないでの研究ができるない」「せめて施設費だ

けでも減額してほしい」「学費を下げてほしい」という切実な声や願いも語りました。